

東京支部活動目標 【倦まず、弛まず、諦めず】

- 1 倦まず、弛まず、諦めず→60年の自虐史観からの解放には永い時間が掛かる事を覚悟する。
- 2 設立趣旨に則った「つくる会」と「新しい歴史教科書」を守り抜く為に「本部」を支援する。
- 3 3年後の採択運動に向け、本部と密に連携して教育関係者などへの働きかけを積極的に行う。
- 4 「教科書運動」は子供達の為だけではなく、国民への啓蒙運動でもあると位置づける。
- 5 中韓が目の敵にする「新しい歴史教科書」は、日本の自立史観、最後の砦である事を広く啓かんとする。
- 6 志を同じくする他の組織とも連携し、教科書運動と関連する政治活動にも積極的に関与する。
- 7 東京支部は「つくる会」中核支部の一つとして、「つくる会」を支える会員の拡充に全力を挙げる。
- 8 東京支部は開かれた組織を目指し、会員の活動拠点としての充実を図る。

東京支部活動計画

- 1 毎月一度、定例会議・幹事会を開催し、本部への提言、会員拡充などの研究課題を討議する。
- 2 靖国神社の年中行事に合わせて社頭で年6回、「つくる会」を宣伝する為の広報活動を行う。
新年（1月3日）、建国記念日（2月11日）、春期例大祭（4月21日前後）、みたま祭り（7月14日前後）、終戦記念日（8月15日）、秋期例大祭（10月18日前後）
- 3 拠点の杉並区を死守するために杉並区での広報活動を強化する。
- 4 巡回パネル展や講演会、模擬授業など適宜テーマを定めた啓蒙活動を年複数回開催する。
- 5 「近隣諸国条項」、「河野談話」、「村山談話」の撤廃運動を広報活動やパネル展と共に行う。